

近世理學ノ進歩

(太洪水後千六百七十年ニ至ル四年ヨリ)

星 學	物理學及醫學	化 學	地文學及地質學	生 物 學
千六百五十九年 ヒュトグレンス氏土 星ノ環ヲ發見ス	千六百四十四年 トリセリー氏晴雨 計ヲ工夫ス 千六百四十六年 パスカル氏空氣ノ 重量ヲ證明ス	千六百四十五年 學士會院第一回ノ 集會		千六百四十七年 ベクエット氏胸管 ヲ發見ス 千六百四十九年 ルードベック氏淋 巴管ヲ發見ス 千六百五十六年 マルビギー氏ボロ グナノ醫學講師ト 爲ル
	千六百五十年 ゲリツケ氏排氣鐘 ヲ工夫ス及マダテ バルク半球、電氣 器械 千六百五十八年 ヒュイグレンス氏サ イクロド擺子ヲ發 見ス			

千六百六十六年 ニウトン氏始メテ 重力説ヲ論ス	千六百六十六年 牛董氏光ノ複合ヲ 証明ス 千六百七十年 始メテ水銀寒暖計 ヲ製ス	千六百六十五年 フイク氏空氣ハ燃 燒ニ必要ナルコト ヲ論ズ 同年 ポイル氏空氣ヲ實 驗ス	千六百六十九年 ステノー氏化石ヲ 論ス 千六百七十年 シユルラ氏カラブ リアノ化石ヲ論ズ	千六百六十一年 マルビギー氏顯微 鏡ヲ用ヒテ肺ノ氣 胞ヲ試驗シ、マル ビギー層ヲ發見シ 且昆蟲ヲ解剖ス 千六百六十三年 レイ氏ウヰリユビ ー氏ノ周遊
	千六百六十一年 ポイル氏瓦斯體壓 權ニ係ル理法	千六百六十二年 理學學校ノ創立		
	千六百六十二年 マクニス氏ノ蒸 氣機關			
	千六百六十七年 メーヨー氏火氣ヲ 發見ス 同年 ビーチャー氏フロ ギストン理論ヲ稱 道ス			
				千六百七十年 呼吸ニ由リテ空氣 ヨリ取ル所ノ物質 ヲ論ズ

近世理學ノ進歩

(大洪水後千六百七十四年ヨリ
千七百三十二年ニ至ルヨリ)

星 學	物理學及醫學	化 學	地文學及地質學	生 物 學
千六百七十六年 ハルレー氏水星ノ 經過ヲ觀測ス	千六百七十六年 レーメル氏光線ノ 速力ヲ測算ス			千六百七十四年 マルビギー氏植物 ノ構造ヲ論ス
千六百八十二年 ニウトン氏重力ノ 法則ヲ定ム	千六百七十八年 ヒュイゲンズ氏光 線ノ波動説及複屈 折ヲ論ズ		千六百八十二年 ビカトー氏地球ノ 大サヲ測ル	千六百七十七年 レオウエンヘック 氏微動物ヲ發見ス
同年 ハルレー氏彗星ノ 復歸ヲ前知ス				千六百八十二年 クルー氏植物ノ構 造ヲ論ズ
千六百八十七年 ニウトン氏プリン シピア(數學的物 理論)ヲ著ス	千六百九十年 パビン氏ノ蒸氣機 關			千六百九十年 リウイナス氏各植 物ニ二個ノ名ヲ命 セント企ツ

千六百九十一年 ハルレー氏金星ノ 經過ニヨリテ太陽 ノ巨離ヲ測ル	千六百九十八年 サーヴァーレ氏ノ 蒸氣機關	千七百一年 ポールハーヴ氏有 機化學ヲ創ム	千六百九十五年 ウットワード氏化 石及岩石ヲ拾集ス	千六百九十三年 レイ、ウオリュービ 兩氏ノ動物分類及 レイ氏ノ植物分類 法
千七百二十二年 グラハム氏磁針ノ 移動ヲ知ル	千七百五年 ニウカメン氏ノ機 關	千七百十八年 ヘールズ氏瓦斯ヲ 試験ス		千六百九十四年 トウルネフォル氏 植物分類法
千七百二十七年 ブラッドリー氏地 軸ノ振動及恒星ノ 不斜ヲ發見ス		千七百二十九年 ストール氏「フロ ギストン」理論ニ ヨリテ化學ヲ創ム		千七百十七年 パフォン氏及リン ニアス氏生ル
				千七百二十七年 ヘールズ氏植物ノ 呼吸及其細胞ヲ發 見ス

近世理學ノ發達

(大洪水後千七百三十八年ヨリ千七百六十六年ニ至ル)

星 學	物理學及醫學	化 學	地文學及地質學	生 物 學
千七百三十八年 ボイルゲーア氏地球ノ比重ヲ測定セント企ツ	千七百四十年 ハウクスビー氏ノ電氣器械		千七百四十年 ラツザローモロ 1氏地球ノ外皮ヲ論ズ	千七百四十一年 リンニアス氏アツ プサーラーニ植物 園ヲ開ク
	千七百四十四年 セルシアス、フア レン、ヘイト、レチ ミエールノ三氏寒 暖計ノ分度ヲ作ル			千七百四十三年 ハールラ氏ノ筋肉 論及解剖圖
	千七百四十六年 フランクリン氏電 氣ヲ試験ス		千七百四十九年 ハントン氏地球外 皮ノ構造ヲ研究ス	千七百四十八年 ハールラ、ハンタ ル兩氏比較解剖チ 創ム
				千七百四十九年 バフマン氏ノ博物 學及動物ノ配布

千七百六十四年ヨリ 同八十二年至ル ラーヴランズ氏月 ノ平均ヲ測ル	千七百六十年 ブラツク氏潛熱ヲ 試験ス	千七百六十六年 カヴァンヂス氏水 素ヲ發見ス		千七百六十四年 ボナ氏動物ノ發達 ヲ論ズ
千七百六十年 テ大陽ノ距離ヲ知 ル及デリスル氏ノ 方法	千七百五十七年 ドルロンド氏アク ロマチツクヲ製ス	千七百六十年 ベリグマイン氏化 學觀和力ヲ論ズ及 固着空氣ハ酸ナル コトヲ証明ス		千七百五十二年 トウベントン氏ノ 解剖學
千七百六十年 テ大陽ノ距離ヲ知 ル及デリスル氏ノ 方法	千七百五十六年 ブラツク氏固着空 氣ヲ石灰石ヨリ製 ス			千七百五十三年 リンニアス氏植物 ノ種名ヲ定ム
	千七百五十五年 ワット氏ノ蒸氣機 關			千七百五十四年 ボナ氏植物ノ葉ヲ 論ズ
				千七百六十二年 ボナ、スバルラン サネー兩氏動物ノ 再生力ヲ試験ス

近世理學ノ進歩

(大洪水後千七百九十一年ニ至ルヨリ)

星 學	物理學及醫學	化 學	地文學及地質學	生 物 學
千七百九十三年 ハーシエル氏太陽 斑点ノ原因ヲ論ズ	千七百九十二年 ヴォルタ氏化學電 氣ヲ發見ス 千七百九十八年 ランフォルド氏摩 擦ニヨリテ水ヲ沸 騰セシム 千七百九十九年 デヴィー氏水ヲ摩 擦シテ溶解セシム 千八百年 ヴォルタ柱 同年 ハーシエル氏熱線 ヲ發見ス	千七百九十四年 ラヴォーゼー氏劑 罰ニ達フ 千八百年 ニコルソン氏及カ ーライル氏水ヲ分 析ス 同年 デヴィー氏笑氣ヲ 發見ス	千七百九十年 スミス氏地層ノ連 續ヲ研究ス 同年 ソウツセル氏水原 ノ作用ヲ研究ス 千七百九十九年 ハンボルト氏亞米 利加ニ旅行シテ同 溫線ヲ研究ス	千七百九十年 ゴーテ氏植物形狀 學ヲ創ム
千八百一年 ピアツジー氏小遊 星中ノセレスヲ發 見ス 千八百二年ヨリ 同四十七年ニ至ル 他ノ小遊星ノ發見 及オルベルス氏之 ヲ遊星ノ碎片ナリ ト論ズ 千八百三年 ピオット氏隕石ヲ 論ズ	千八百一年 リツタル氏化學光 線ヲ發見ス 同年 ヤング氏光線ノ交 錯ヲ論ズ 千八百二年 ウエツヂウート氏 及デヴィー氏太陽 嚮ヲ試驗ス 同年 ウラストン氏スベ クトルムヲ論ズ 千八百四年 フラウンホーフ アル氏太陽ト星ト ノスペクトル中 ニ於ケル線ヲ比較 ス 千八百八年 マルー氏交錯ニヨ リ光線ノ分極ヲ知ル 千八百十一年 レスリー氏及メロ ニー氏光線ノ熱ヲ 論ズ	千八百六年 デヴィー氏電氣分 析ニヨリテボツタ ーシニウムトソヂ ムトヲ發見ス 千八百七年 鹽酸ヲ論ズ 千八百八年 ダルトン氏原子抱 合ノ理法ヲ論ズ 千八百八年 グリニーサクク氏 容積ヲ増加スル方 法ヲ論ズ		千八百一年 ラマルク氏動物ノ 發達ヲ論ズ 千八百二年 セント・ヒレリア 氏亞非利加ヨリ動 物標本ヲ携帶ス 千八百四年 ハンボルト氏植物 ノ分配ヲ論ズ

星 學	物理學及醫學	化 學	地文學及地質學	生 物 學
千八百一年 ピアツジー氏小遊 星中ノセレスヲ發 見ス 千八百二年ヨリ 同四十七年ニ至ル 他ノ小遊星ノ發見 及オルベルス氏之 ヲ遊星ノ碎片ナリ ト論ズ 千八百三年 ピオット氏隕石ヲ 論ズ	千八百一年 リツタル氏化學光 線ヲ發見ス 同年 ヤング氏光線ノ交 錯ヲ論ズ 千八百二年 ウエツヂウート氏 及デヴィー氏太陽 嚮ヲ試驗ス 同年 ウラストン氏スベ クトルムヲ論ズ 千八百四年 フラウンホーフ アル氏太陽ト星ト ノスペクトル中 ニ於ケル線ヲ比較 ス 千八百八年 マルー氏交錯ニヨ リ光線ノ分極ヲ知ル 千八百十一年 レスリー氏及メロ ニー氏光線ノ熱ヲ 論ズ	千八百六年 デヴィー氏電氣分 析ニヨリテボツタ ーシニウムトソヂ ムトヲ發見ス 千八百七年 鹽酸ヲ論ズ 千八百八年 ダルトン氏原子抱 合ノ理法ヲ論ズ 千八百八年 グリニーサクク氏 容積ヲ増加スル方 法ヲ論ズ		千八百一年 ラマルク氏動物ノ 發達ヲ論ズ 千八百二年 セント・ヒレリア 氏亞非利加ヨリ動 物標本ヲ携帶ス 千八百四年 ハンボルト氏植物 ノ分配ヲ論ズ

近世理學ノ進歩

(千八百四十八年十二月ヨリ
千八百八十二年ヨリ)

星學	物理學及醫學	化學	地文學及地質學	生物學
千八百十九年 エンケ氏ノ彗星	千八百十五年 デヴィー氏ノ安全燈	千八百十八年 ベルゼリアス氏吹管ヲ用フ	千八百十二年 キエヴィア氏ノ証明セル地球上生物ノ第一期	千八百十二年 キエヴィア氏巴里ノ化石動物ヲ研究ス
千八百二十年ヨリ 同三十八年ニ至ル ハインセル氏南半球ノ星ヲ研究ス	千八百十六年 フレネスル氏及ヤンズ氏光線ノ分極ヲ論ズ	千八百十七年 パツクランド氏ノ地質學講義	千八百十五年 スミス氏ノ地質圖	千八百十七年 キエヴィア氏動物界ヲ出版ス
	千八百十九年 アーステッド氏ノ電氣磁石			千八百十八年 セントヒリア氏動物形狀ノ一致ヲ論ズ
	千八百二十年 アマベール氏ノ電氣磁石			
	千八百二十一年 フアラデー氏ノ電氣磁石			

千八百二十六年ヨリ 同六十年至ル シエラエーベ氏太陽斑點ノ定時變遷ヲ証明ス	千八百二十六年 モーパー氏ノ彗星	千八百二十二年 ハインセル氏分光鏡ヲ用ヒテ化學原素ヲ研究ス	千八百二十五年 マクエネリー氏ケントノ岩洞中ニ滅盡セル動物骨ト共ニ火王器具ヲ發見ス	千八百二十八年 ヴンペーア氏胎子發達ノ週法
千八百三十八年 ハインセル氏星學書ヲ出版ス	千八百三十七年 ホエーラストン氏及クック氏電信ノ理ヲ論ズ	千八百三十年 ライビツク氏有機物ヲ分析ス	千八百三十年 ライエル氏ノ地質學	千八百三十二年 キエヴィア氏ノ死去
	千八百三十九年ヨリ 同四十二年ニ至ル セグイン及メイヤル氏熱ト作用トノ關係ヲ論ズ	千八百三十二年 コロルフオーム及コロラルヲ發見ス		
	千八百三十九年 金屬板寫眞	千八百三十四年 フアラデー氏電流ノ化學性質ヲ論ズ及計電器ノ發明		
				千八百三十九年 アガシズ氏淡水動物ヲ研究ス
				千八百四十年ヨリ 同四十八年マデ有機化學
				千八百四十年 アガシズ氏水原時代ニツキテ研究ス

近世理學ノ進歩

(大洪水後千八百四十二年ヨリ
千八百七十四年ニ至ル)

星 學	物理學及醫學	化 學	地文學及地質學	生 物 學
<p>千八百四十五年 ビロー氏彗星ヲ發見ス</p> <p>千八百四十五年ヨリ 同四十六年マデ レヴェイ氏アダムス氏海王星ノ位置ヲ探索ス而シテガルレー氏此游星ヲ發見ス</p> <p>千八百五十年 ラモント氏磁石ノ定時變更ヲ論ス</p>	<p>千八百四十三年ヨリ 同四十九年ニ至ル ジョウル氏熱ノ同勢力ヲ論ズ及熱力論ヒルン氏熱學ノ實驗</p>	<p>千八百四十八年 ウエーラル氏人工ニヨリテ有機原素ヲ作ル</p>	<p>千八百四十七年 バルセス氏アツペ ヴィルニ於テ化石 器具ヲ發見ス</p> <p>千八百五十三年 スウキム湖上住民 ノ發見</p> <p>千八百五十八年 ハンボルト氏ノ著 書及同氏ノ死去</p>	<p>千八百五十八年 ダルクウキ氏ワ ス氏自然淘汰ヲ論 ス</p>

<p>千八百五十九年 カリーントン氏及 ホヅグソン氏太陽 斑点ト磁石ノ配布 トヲ研究ス</p>	<p>千八百六十二年ヨリ 同六十六年ニ至ル スキアツペレリ氏 アダムス氏及レヴ レー氏彗星軌道ト 隕石系統ヲ發見ス</p> <p>千八百七十四年 金星ノ經過ヲ看測 スル爲メノ遠航</p>	<p>千八百六十年ヨリ 同六十六年ニ至ル スペクトルム分析 ニヨリテ四種ノ金 屬ヲ發見ス</p> <p>千八百六十一年 ブゼン、キルクフ ツフ二氏スペクト ルム中ノ線ヲ解説 ス</p> <p>千八百六十二年 ハンギンズミルラ ル二氏星及海王星 ノスペクトルム分 析</p> <p>アレキサンデル、 ハーシル氏隕石ノ スペクトルムヲ研 究ス</p>	<p>千八百六十一年 スペクトルム分析 ニヨリテ太陽及星 ノ大氣中ニ於ケル 金屬ヲ發見ス</p> <p>千八百六十二年 スペクトルム分析 ニヨリテ星雲中ノ瓦 斯ヲ研究ス</p>	<p>千八百六十三年 ライエル氏ノ著書</p>	<p>千八百五十九年 ダルクウキ氏種屬 ノ原因ヲ論ズ</p> <p>千八百五十二年ヨリ 同七十二年ニ至ル 化石ノ中間形狀ヲ 發見ス</p>
---	---	---	--	-----------------------------	---

理學大家ノ畧年表 (希臘代時ヨリ第十九世紀ノ中葉ニ至ル)

星 學	物理學及醫學	化 學	地文學及地質學	生 物 學
テールズ氏 アナキマンダール氏 ピサゴラス氏 アナキサゴラス氏 デモクリダス氏 ユードクサス氏 アリストートル氏 アリストテール氏 ピッパカス氏 トレミウス氏	ユークリッド氏 アルキメデス氏		アナキマンダール氏 ピサゴラス氏 エラトステス氏 トレミー氏	ヒッポクラテス氏 アリストートル氏 セプソラダス氏 エラシストラダス氏 ヘラビラス氏 ガレン氏
アルバテグニス氏 エプシエニス氏	ガベルト氏 ベシムサ氏 アルハージェン氏 ロシヤイコニク氏 グヒンホルツ氏 フワウヒョシホヤ氏 レオドハダウヒンナ氏	マカスグレイカス氏 グバール氏 ロシヤイコニク氏	アウセシナ氏 コロニスス氏 ウアヌエテカマ氏 マセチン氏	エウクレイダス氏 アラキメデス氏 ユースタチアス氏 グスネル氏 シーサピダス氏 フアラシダス氏
コペルニカス氏 チヒヨラフヘ氏 シオラダノアム氏	ガブチステボラダ氏 ギルバート氏 ガリレオ氏 ステヴァナス氏	パサセサス氏 ウアンヘルモンテ氏	ガスケル氏 パリワシール氏	ウエウイアス氏 アラキメデス氏 ユースタチアス氏 グスネル氏 シーサピダス氏 フアラシダス氏

紀世九十第	紀世八十第	紀世七十第
ペアウシー氏 カレルス氏 エンナ氏 ゴース氏 ハーシエル氏 エイブリ氏 アダムス氏 レヴエレーア氏 ガレル氏 シエリネーバ氏 シエアツパレリール氏	プラツドリ氏 カレルス氏 ライグランド氏 ライブラーヌ氏 ハーシエル氏 マスケリン氏	ガリレオ氏 ケプラー氏 ガッセンダイ氏 ホルロツク氏 ニウトン氏 ヘイゲンズ氏 ハレー氏
ヤング氏 マルス氏 フレスチエ氏 アークラド氏 アーステッド氏 アンペール氏 シーベック氏 アールスタム氏 サビン氏 フワウフオーファル氏 キルクホフ氏 ハウギンズ氏 メイヤー氏 シヨール氏 ホイットストン氏	ガニーフエー氏 セルスシアス氏 ハイレンヘート氏 レチミエール氏 リツト氏 フランクリン氏 ルネウアニー氏 ヴォルタ氏 ラムフォルト氏	ステリウグス氏 デスカート氏 ペイコン氏 ドレウセル氏 トリセリ氏 グリウツ氏 ボイル氏 フーク氏 ヘーゲンズ氏 ローマール氏
ウラステン氏 ベルセリアス氏 ピカール氏 タルトン氏 トムソン氏 ガエルーサツク氏 デヴィー氏 フアラデー氏 リビシヤ氏 ハウギンズ氏 メイヤー氏 アンセン氏 ミラー氏	ボームハーフ氏 ヘルツ氏 アラウク氏 ベルグマン氏 カウエンボス氏 ブリーストラー氏 シエーブル氏 ラザーフオルト氏 ラウホーゼー氏	メイヨール氏 ピーチヤール氏 スタール氏
ラマルケ氏 ゴーチ氏 ゼントビレーア氏 キエプエーア氏	ラツサローセーロー氏 ウエルムル氏 ハツトシ氏 ウヰリヤムスミス氏 デノーラシニア氏	ステノー氏 シルラ氏 ウイドウエド氏
ハンネーボルト氏 グツクランド氏 ライセル氏 マレキゼン氏 ウカニス氏 アウチヤルダベルダス氏 カルクホフ氏 ウリス氏 アガシス氏	ボームハーフ氏 ヘルツ氏 ハルセル氏 ハンダム氏 ボナ氏 スパルマンサキー氏 ウアブオン氏 ルンニヤス氏 シヨシアス氏	ハーウエー氏 アセリアス氏 ホーデベツク氏 コルビハイ氏 リウエンホツク氏 クリュー氏 シエーブル氏 ウヰリヤムスミス氏 トールンフオルト氏

理科通志大尾

明治廿四年七月十二日印刷
全 年七月十三日出版

(通志第十二)

譯補者 杉山文悟

東京小石川區久堅町七十四番地

發行者 辻敬之

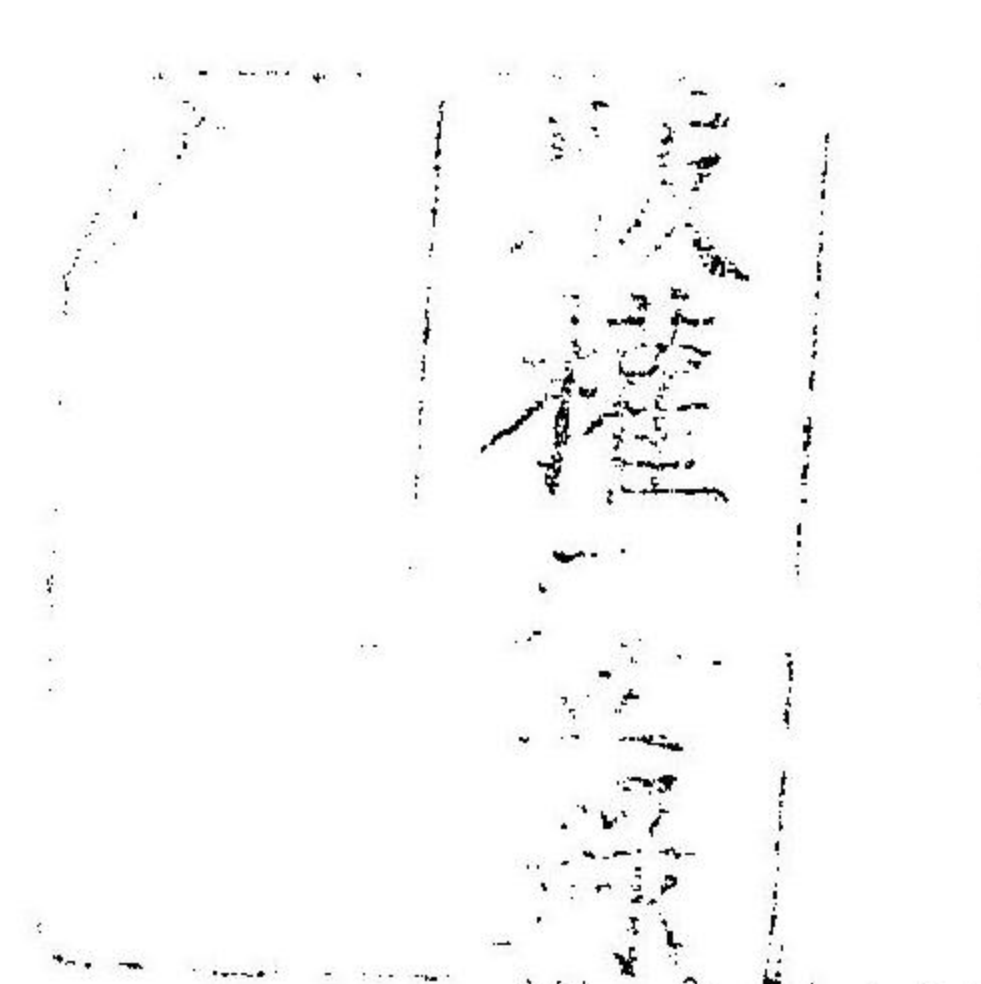
東京神田區柳原河岸十四號地

印刷者 沼尻爲作

東京下谷區御徒士町一丁目七番地

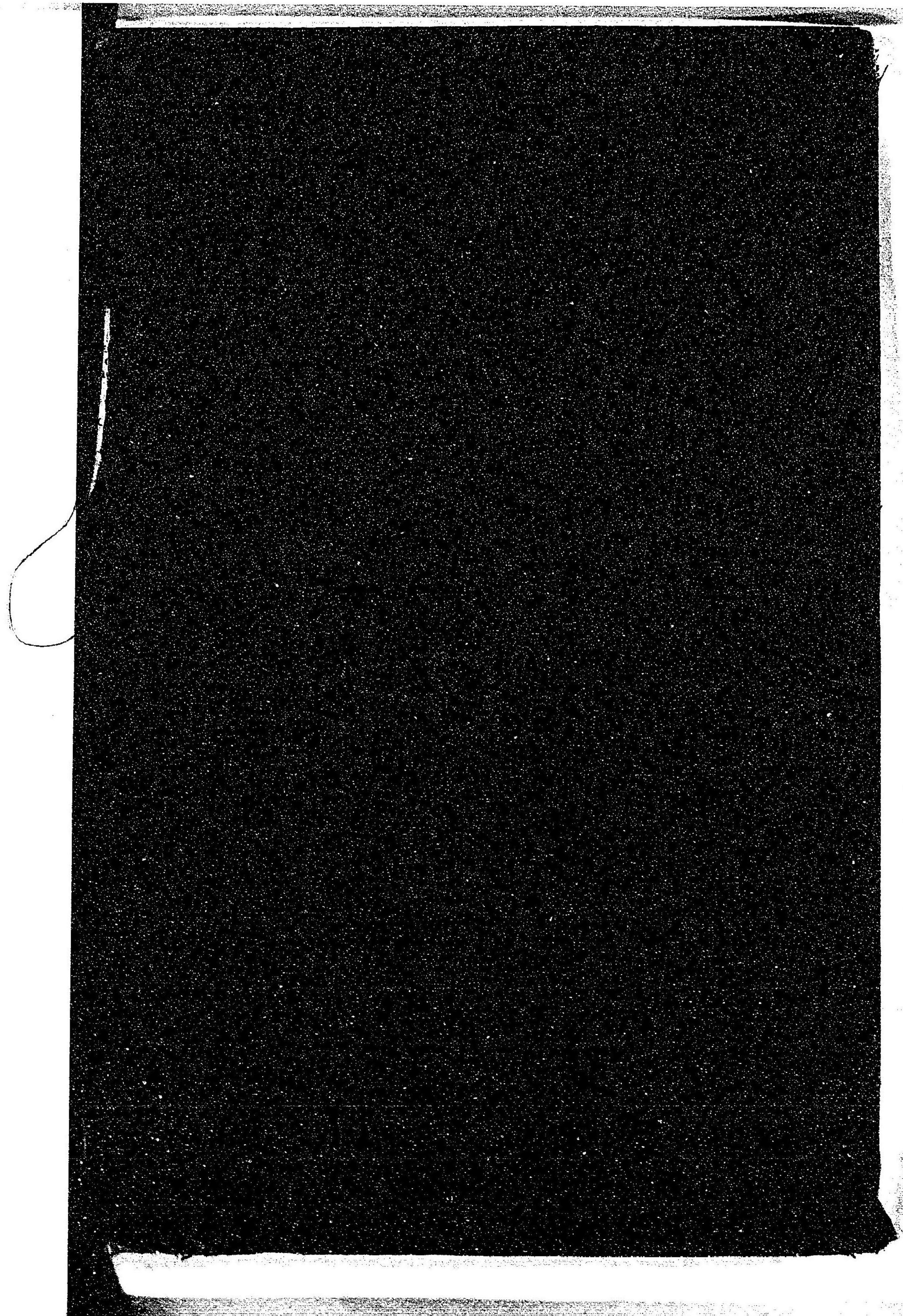
發行所 普及

東京神田區柳原河岸十四號地





12
19



42
49

